

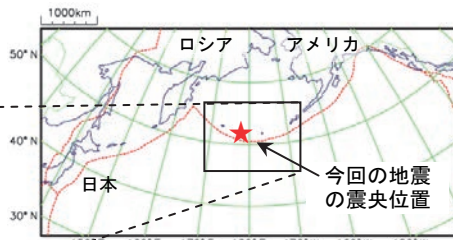
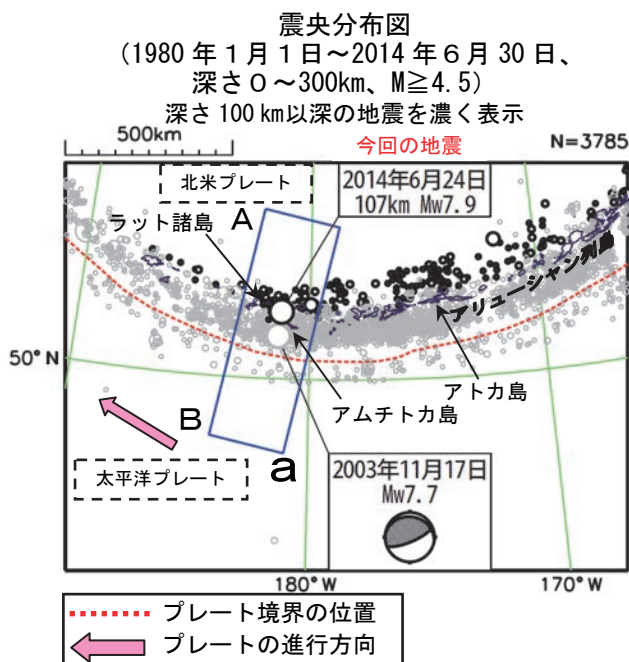
6 月 24 日 アリューシャン列島ラット諸島の地震

2014 年 6 月 24 日 05 時 53 分（日本時間、以下同じ）に、アリューシャン列島ラット諸島の深さ 107km で Mw7.9 の地震が発生した。今回の地震の震源付近では太平洋プレートが北米プレートの下に沈み込んでおり、今回の地震は、沈み込む太平洋プレートの内部で発生した。発震機構（気象庁による CMT 解）は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ型である。

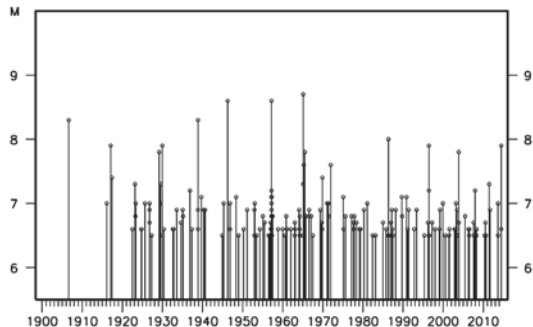
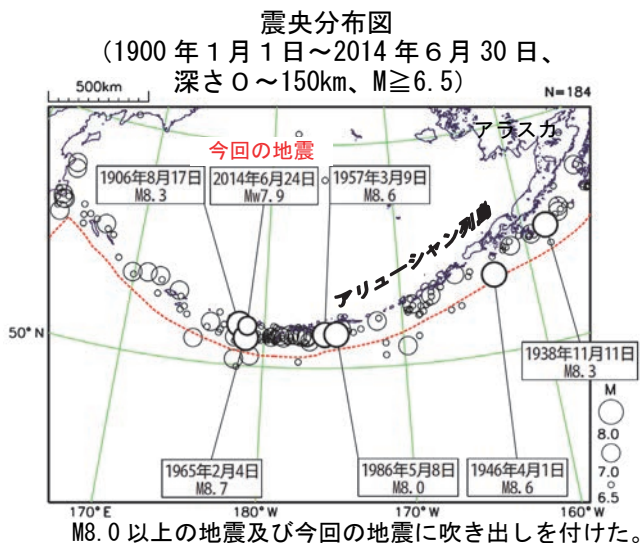
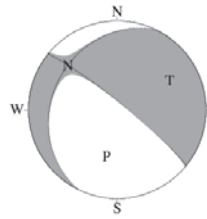
気象庁は、この地震について、遠地震に関する情報を同日 06 時 30 分に（日本国内向け、「日本への津波の有無については現在調査中です。」）を、同日 07 時 31 分に（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を、それぞれ発表した。

この地震により、米国アラスカ州のアムチトカで 17cm、アトカで 12cm、米国ハワイ州のカフルイで 10cm などの津波と考えられる弱い海面変動を観測した。国内では、青森県八戸港（国土交通省港湾局）で 10cm、北海道浜中町霧多布港（国土交通省港湾局）で 8 cm の津波と考えられる弱い海面変動を観測した。

1900 年以降の地震活動を見ると、アリューシャン列島では、M8.0 以上の地震がしばしば発生している。このうち、1906 年 8 月 17 日に今回の地震の震源付近で M8.3 の地震が発生した。また、1965 年 2 月 4 日に M8.7 の地震が発生し、アリューシャン列島のシェミア島で 10m、ハワイのカウアイ島北岸で 1.1m、日本国内では八戸で 48cm など、太平洋沿岸で津波が観測された（「日本被害津波総覧」による）。



今回の地震の発震機構
(気象庁による CMT 解)



※本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。2003 年 11 月 17 日の地震の発震機構と Mw は Global CMT による。その他の震源要素は、1900 年から 2009 年までは国際地震センター (ISC)、2010 年以降は米国地質調査所 (USGS) による。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁 (NOAA) による (6 月 30 日現在)。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。

* 参考文献

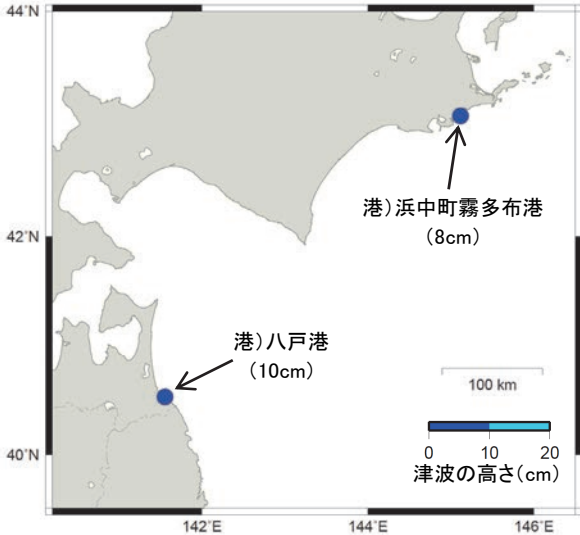
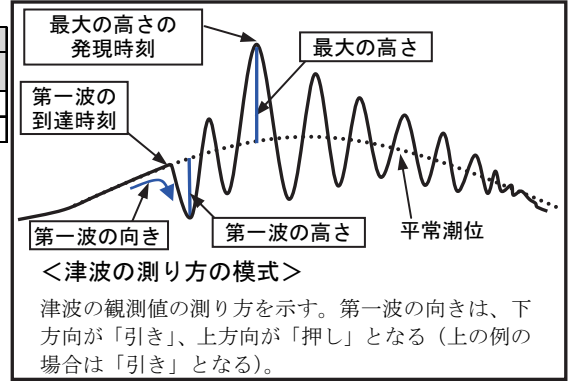
Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

津波の観測状況

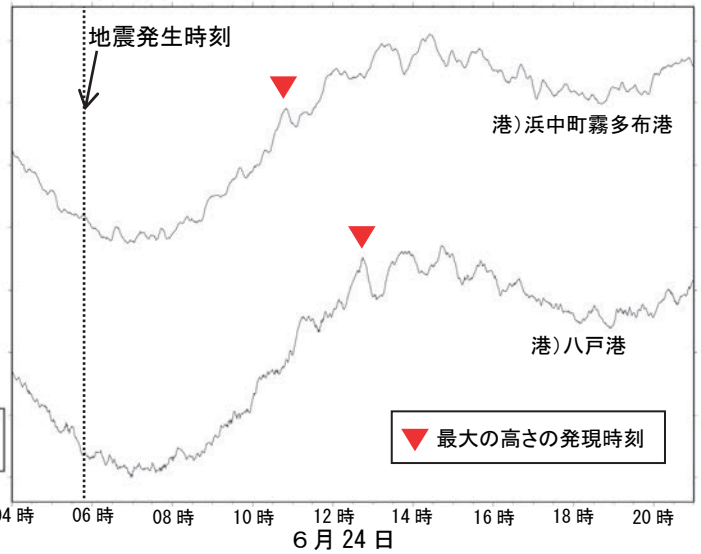
国内の津波観測施設の津波観測値

| 都道府県 | 津波観測施設名 | 所属 | 第一波 | | 最大波 | |
|------|---------|----------|------|--------|-----------|--------|
| | | | 到達時刻 | 高さ(cm) | 発現時刻 | 高さ(cm) |
| 北海道 | 浜中町霧多布港 | 国土交通省港湾局 | 24日 | — | 24日 10:50 | 8 |
| 青森県 | 八戸港 | 国土交通省港湾局 | 24日 | — | 24日 12:45 | 10 |

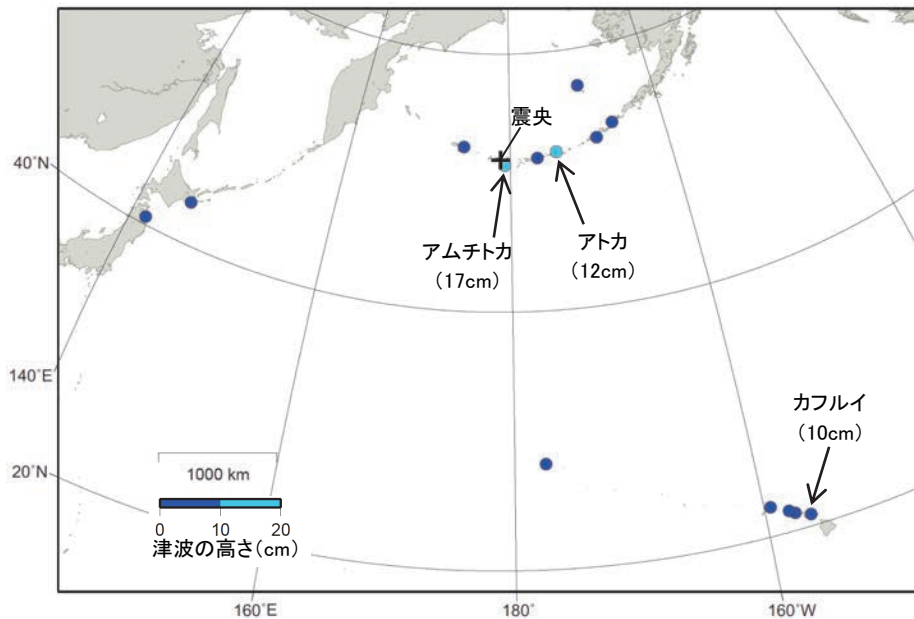
※観測値は後日の精査により変更される場合がある。
 ※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値。
 — は、津波波形が明瞭でないため値が決定できないことを示す。



国内の津波観測施設で観測した津波の最大の高さ
 ※ 港) は国土交通省港湾局の所属であることを表す。



国内の津波観測施設で観測した潮位波形



海外の津波観測施設で観測した津波の最大の高さ

(最大の高さ 10cm 以上を観測した地点については観測施設名を表記)。
 ※海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁 (NOAA) による (7月4日現在)。